

令和6年4月25日

公民連携の強み 高齢者施設でオンライン診療

「公民こねくと」を通じた公民連携として、ファストドクター株式会社、福島県立医科大学地域救急医療支援講座と協力し、高齢者施設の入居者がオンライン診療を受けられるよう試行を始めます。近年、高齢者を中心に軽症での救急搬送が増加しています。一方で、自力通院の困難な高齢者にとって、急な体調不良の際に必要な医療を受けられることが必要です。今回の取組で、両方の課題を解決する方法の確立を目指します。

記

1. 目的 “オンライン診療が軽症の救急車利用を減らすことは可能か”
“高齢者もオンライン診療を活用することは可能か” を検証
2. 体制 ファストドクター、地域救急医療支援講座、福島市の3者連携
3. 期間 4月27日（土）午前0時から開始 24時間対応
3カ月間を目途に継続し、取組の効果を検証
4. 実施施設 市内のサービス付き高齢者向け住宅 等
順次、協力施設を増やし、市内30カ所以上で実施されることを目標
5. 取組内容
 - （1）実施施設専用のオンライン診療WEBページを設置
 - （2）入居者が専用ページからファストドクターのオンライン診療を受診
 - ・ 休日や夜間に生じた急な体調不良時に利用（原則、かかりつけ医の受診を優先）
 - ・ 施設職員のサポートや代行を受けながら受診（本人自ら操作することもOK）
 - ・ 緊急性の高い病態（例：意識障害）やオンライン診療での判断に応じ、救急要請
 - （3）効果を検証し、課題解決に向けた次の対策を構築
 - ・ オンライン診療や救急搬送の実績などを収集
 - ・ 地域救急医療支援講座の協力のもと結果を分析

この記者会見の後、市長応接室にて
デモンストレーションを実施します。

担当：保健総務課 地域医療係
課長 澁谷 係長 野木
電話 024-572-7602（直通）

公民連携の強み 高齢者施設でオンライン診療

- 自力通院が困難な高齢者が入居する施設にオンライン診療を導入
- 軽症者の救急搬送を減らし、救急車の適正利用を実現できるか検証

課題

市内施設から救急要請は年間1,400件
うち、2割は入院を要さない軽症

- ・ 搬送に伴う患者・家族・施設関係者の負担
- ・ 重症患者に対応する救急隊や病院のひっ迫
- ・ 救急車の出動や病院受診で生じる費用



解決に向けた取組

高齢者施設へオンライン診療を導入
オンライン診療で軽症者に対応

オンライン経由で医師ができることの例

- ・ 救急要請の必要性を判断
- ・ 現地の看護師へ指示
(必要に応じて酸素投与や吸引など)
- ・ 処方箋を発行



取組の流れ・体制

- 高齢者施設向けに専用の申込WEBページを用意
- 夜間・休日に具合が悪くなった際に、上記ページから申込
(スマートフォン・タブレット等でアクセス)
- 保険診療によるオンライン診療、市内薬局で薬を受取
(自己負担分をコンビニ後払い or クレジットカード決済)

施設職員の補助を受けながら利用



かかりつけ受診を優先

開始日時 4月27日(土) 0時

対象施設 操作補助などを受けやすい施設
サービス付き高齢者向け住宅など

実施体制 ファストドクター株式会社
地域救急医療支援講座(福島県立医科大学)
福島市

この取組の狙い・方針

オンライン診療が軽症の救急車利用を減らすことは可能か？
高齢者もオンライン診療を活用することは可能か？

十分な検証をするために件数が必要
GW後も継続し、協力を募りながら施設や体制を拡充予定

23:29 contact-test.fastdoctor.jp

Fast DOCTOR
Estel 救急総合窓口 ファストドクター

受診される方の情報

お名前
姓* やまだ
名* たろう

性別*
 男性 女性

生年月日
年(西暦)* 2000
月* 02
日* 02

23:30 contact-test.fastdoctor.jp

Fast DOCTOR
Estel 救急総合窓口 ファストドクター

症状

症状*
体温(℃)* 36.6
発症時期*

5日以内に以下の患者やその疑いがある人との接触歴がある場合は選択してください*

該当なし
 コロナ
 インフルエンザ
 アデノウイルス
 RSウイルス
 マイコプラズマ

23:30 contact-test.fastdoctor.jp

Fast DOCTOR
Estel 救急総合窓口 ファストドクター

お薬を受け取る薬局

お受け取り希望の薬局を選択してください

送信